

No.26 工事及び災害時等の通行規制時における交通誘導員の代替機能の導入

ニーズの概要

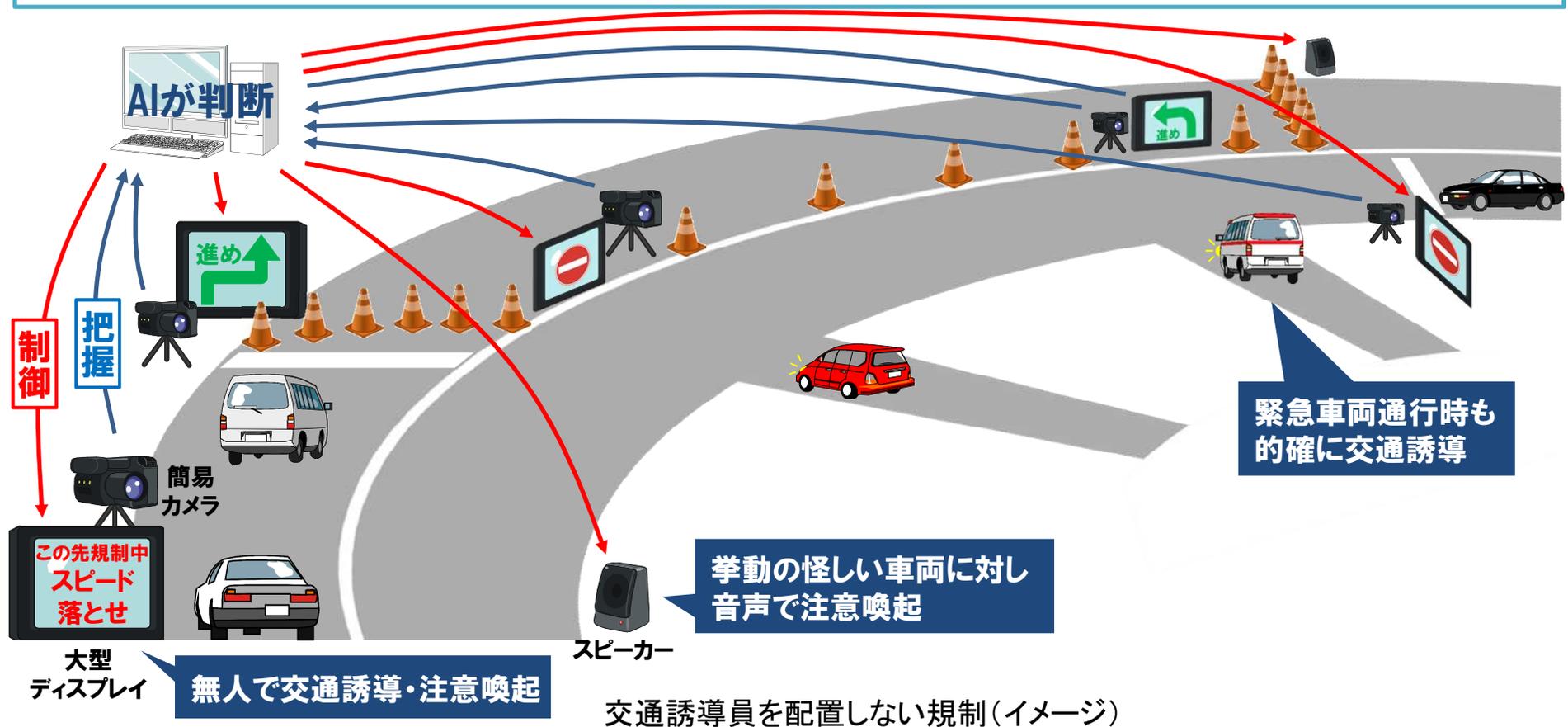
- 現道規制が必要な作業時には、共通仕様書や警察協議により交通誘導員を配置している。
- しかし、交通誘導員が確保できないために、現場作業が遅延する場合がある。
 - 例) 交通誘導員の人手不足により、作業着手が遅延
 - 災害等の緊急時に交通誘導員が早急に確保できず、応急対策が遅延
- 現道作業の遅延は管理瑕疵に繋がる為、速やかに規制を行いたい。



No.26 工事及び災害時等の通行規制時における交通誘導員の代替機能の導入

期待するシーズ

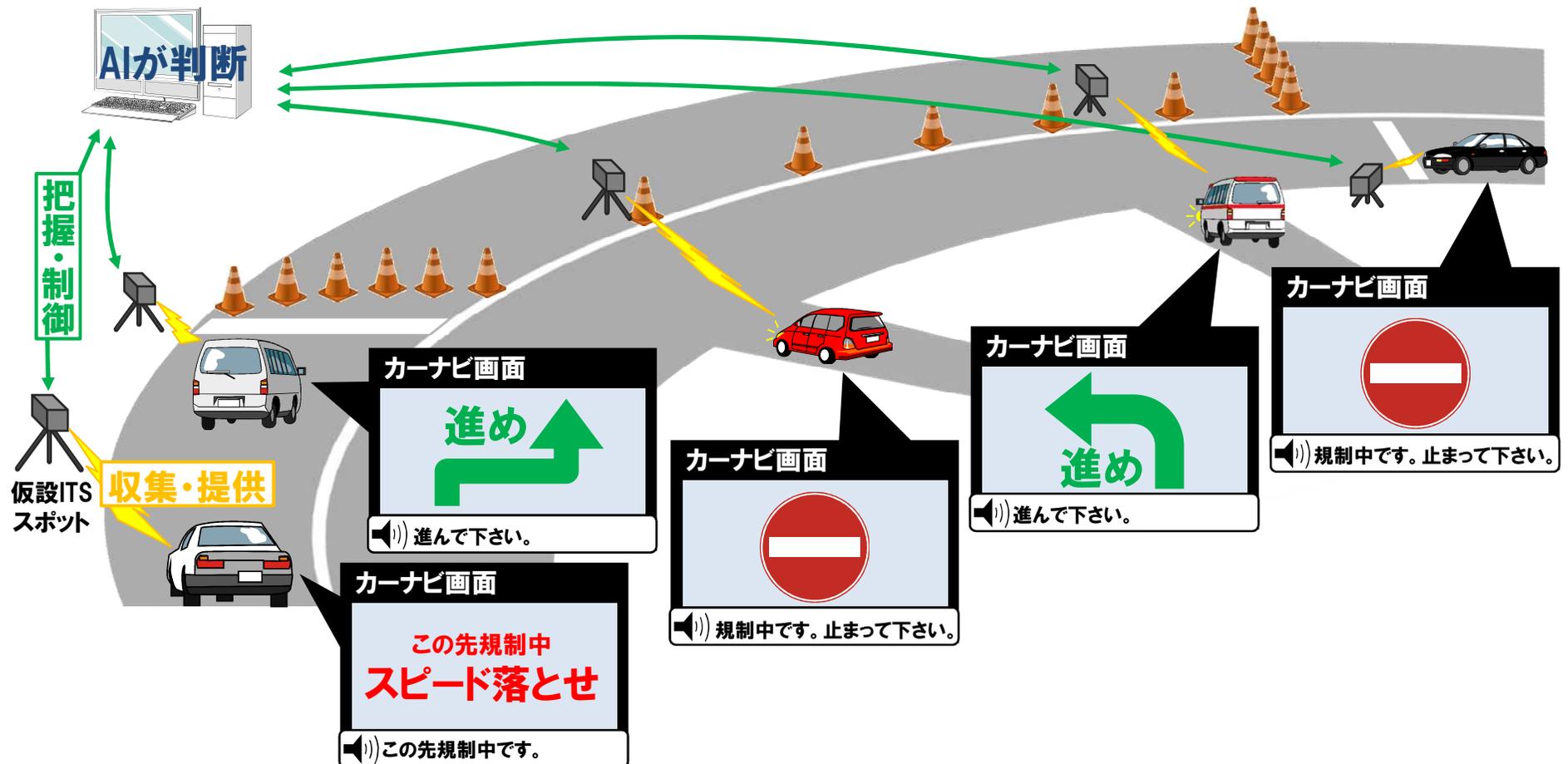
- 自動車専用道や店舗等の隣接が少ない区間では、以下の様に規制を実施する。
 - ・ 簡易カメラにより、規制箇所周辺の交通状況や車両挙動を把握
 - ・ 把握した情報を基に、的確な交通誘導・注意喚起をAIが判断
 - ・ 大型ディスプレイやスピーカーにより、ドライバーに対し交通誘導・注意喚起



No.26 工事及び災害時等の通行規制時における交通誘導員の代替機能の導入

期待するシーズ

- 長期的には規制時限定で仮設ITSスポットによる情報提供を可能にし、ドライバーへの注意喚起、交通誘導等を実施する。(ETC2.0の普及が前提)



仮設ITSスポットによる規制(イメージ)